

新型コロナパンデミック明け **2023 年の活動**

**「林鉄フェス 2024」開催をめざして**

2020 年 1 月の世界的新型コロナウイルス感染症発生から早や 5 年、23 年 5 月からは感染症法上の位置づけが 5 類となり行動制限が緩和されだんだん落ち着いてきています。しかしウクライナ戦争の終結が見通せない中、パレスティナ・ガザでのジェノサイドも続き、日本も様々な影響が出ています。異常な円安による記録的な物価高は日々の生活に影を落としています。

今年度は、懸案の展示線が御嶽山を一望する展望台駐車場の機回り線北側によく設置できました。りんてつ倶楽部の手で運材台車の軸受材を交換し、枕木材の納入でお世話になっている藤本林業さんの協力により、滝越・八王子社の社叢の大径木材を積み込んで展示することができました。前々から「森林鉄道の姿を常時公開できないか」という声に答えることができました。

また、村にお願いしたあった龍神沢の土砂崩れ復旧と木橋修復を 6 月から 7 月にかけて行っていただきました。木橋の撤去と土砂の撤去、水路横断のボックスカルバートの設置、路盤構築と本格的土木工事でした。沢の土砂撤去によって埋没していた「水神様」も回収され、龍神沢右手に移

設しました。

今年度はコロナ禍等で延期されていたフェスティバルが「長野県地域発元気づくり支援金事業」で木曾おんたけ観光局主催の「林鉄フェス 2023」として開催され、「りんてつ倶楽部」と共に運材列車デモ走行や体験乗車会の運営にあたりました。7 年振りのフェス開催で手探り状態でしたが、新しい形での運営の形ができ今後のフェスの継続が見えました。

松原スポーツ公園内の王滝森林鉄道の復活路線建設と保持は、枕木募金を始めとする皆様方からの寄付金と長野県と王滝村の助成金によって行われ、施設はすべて王滝村に寄贈されています。枕木は昨年度、枕木募金と寄付金、王滝村の「絆助成金」で 400 本余りを購入しました。既設路線の枕木は、少しずつ交換していますが、全体で 3000 本を超える枕木を維持管理するには容易ではありません。今後も続けて皆様のご協力ご支援をお願いいたします。

コロナ禍明けの来年度からは「作業体験イベント」を企画して多くの方々と活動交流ができるようにしていきます。 (植木 雅史)



林鉄フェス 2023 開会セレモニーのテープカット  
2023 年 10 月 6 日

二〇二四年 (令和六年) 度	
活動予定	
総会	四月二十八日 (日)
定例作業日	四月二十七日 (土)
	五月十二日 (土)
	六月八日 (土)
	七月七日 (土)
	八月二十四日 (土)
	九月十五日 (日)
	十月五日 (土)
	十一月十七日 (日)



## 木曾おんたけ観光局主催 「林鉄フェス2023」 10月8日(日) 9時40分～15時

7年ぶりの「林鉄フェス2024」は、木曾おんたけ観光局主催で新たな運営方法での開催となった。木曾森林管理署をはじめとする関係諸団体の協力でフェスティバルのメイン行事「運材列車のデモ走行」が注目を集めた。



運材列車デモ走行に集まる人々。

7年のブランクは大きく走行区間が車庫前から管理棟前に限定されたため来場者は670余人にとどまった。



### 開会セレモニー 堀内征二会長あいさつ

木曾おんたけ観光局主催で行われます「林鉄フェス2023」は、2016年の「第5回王滝森林鉄道フェスティバル」以来7年が経ちました。コロナの関係もあり、久しぶりの開催になります。

王滝森林鉄道は、国内最後の森林鉄道として昭和50年(1975)に廃止になって今年は48年になります。

御嶽山麓の王滝川沿いの広大な森林の恵みを楽しみ良質の樹木を街へ運んだ森林鉄道の歴史を昭和期の産業遺産として後世に継承してゆくことは未来世紀へ向けた子どもたちが木曾谷の誇りとして夢をはぐくむ事につながります。

ここ松原スポーツ公園は、牧尾ダムの堆砂除去事業により出来た公園で、王滝森林鉄道の復活路線の敷設には、多くの賛同者のご支援ご協力をいただいています。本当にありがとうございます。感謝いたします。

最後に、本日は多くの皆様が来ておられます。「森林鉄道の里づくりをめざして」今後ともご支援ご協力のほどよろしく願いいたします。



飲食店はテントブースのほかにキッチンカーも来場し、大人気。スポーツバイク(自転車)体験会なども開催された。



2023年 活動記録 (1月~12月)

- 3月9日(木) 22年度第4回事務局会 (公民館)
- 20日(月) 22年度第5回事務局会 (公民館)
- 23日(木) 会長・事務局懇談 (会長宅)
- 4月8日(金) 奈良井車両譲渡打合せ①(松原)
- 15日(土) 奈良井車両譲渡打合せ②(松原)
- 29日(土) 定例作業① (看板設置、展示線延長) 4名
- 30日(日) 定例総会 (中止、資料配付、書面承認)
- 5月14日(日) 定例作業② (雨天中止) 4名
- 19日(金) 奈良井車両搬入(松原)
- 6月10日(土) 定例作業③ (展示線延長) 4名
- 7月9日(日) 定例作業④ (雨天中止、懇談) 3名
- 21日(金) 第1回事務局会 (公民館)
- 8月5日(土)~10日(木) 龍神沢線路復旧作業 3名  
(埋立整地・路盤構築・レール設置)
- 19日(土) 定例作業⑤ (展示線上路作業) 8名
- 9月8日(金) 林鉄フェス打合せ(松原公園管理棟)
- 10日(日) 定例作業⑥ (展示線上路作業) 11名
- 17日(日) 特別作業(展望台乗り場補修) 4名
- 20日(水) 第2回事務局会 (公民館)
- 29日(金) 特別作業(木橋改修・龍神沢工事) 5名
- 10月1日(日) 特別作業(車庫前乗り場改修) 2名
- 2日(月) 第3回事務局会 (公民館)
- 7日(土) フェス前日準備 4名
- 14日(土) 定例作業⑦ (枕木交換) 2名
- 31日(火) 第4回事務局会 (公民館)
- 11月4日(土) 公民館祭り体験乗車会(57名乗車) 6名
- 12日(日) 定例作業⑧ (枕木交換・冬仕舞) 6名
- 1月10日(水) 第5回事務局会 (公民館)

枕木募金 (記録寄付)

(2023年12月末現在 敬称略)

- 枕木 No.862 山田 泰裕 (愛知県・名古屋市北区)
- 枕木 No.863 下田 貴志 (東京都・小平市)
- 枕木 No.864 やまだ あつし (名古屋市昭和区)
- 枕木 No.865 坂本 峰子 (長野県・東御市)
- 枕木 No.866 横江 浅次 (愛知県・名古屋市北区)
- 枕木 No.867 大貫 敏行 (神奈川県・横浜市港北区)
- 枕木 No.868 高岸 武志 (岐阜県・美濃加茂市)
- 枕木 No.869 伊藤 正博 (長野県・南木曾町)
- 枕木 No.870 斎藤 博美 (長野県・塩尻市)

ご協力ありがとうございます。

お名前のプレートを芳名額に掲額します。

りんてつ倶楽部代表交代と懇談連絡会

松原運動公園に展示してあった村の林鉄車両の修復復元(レストア)作業を平成3年から行っている「りんてつ倶楽部」の代表が2023年5月に長尾年恭さんに交代しました。この代表交代を機に本会と活動の連携を深める懇談・連絡・打合せを定期的に行うことになり、参加型の活動の在り方について意見交換を次の様に行いました。

- 6月29日(木) 教育長へのあいさつ(教育委員会)
- 8月20日(日) 懇談打合せ(松原)
- 9月4日(月) 村長へのあいさつ(村長室)
- 11月30日(木) 懇談打合せ(公民館)
- 12月9日(土) 線路検分(松原)

訃報

藤沢 滋 2023(令和5)年7月逝去

1999(平成3)年「りんてつ倶楽部」が松原運動公園の林鉄車両の修復活動を始める際、王滝村教育委員会として折衝にあたる。2004(平成16)年の「木曾モジュール倶楽部」の公開運転会会場にて林鉄保存団体設立趣意書を配布し、賛同者と営林署OBや関係団体を募って「フェスティバル実行委員会」を立ち上げ、翌2005年5月に田島駅跡地で「森林鉄道フェスティバル」を開催。

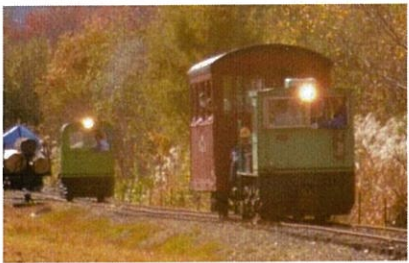
2011(平成23)年に「王滝森林鉄道の会」を設立。副会長として松原スポーツ公園外周を巡る「周回軌道」の建設を進める林鉄の復活保存活動の中心であった。

立花 裕美子

2023(令和5)年10月逝去  
森林鉄道フェスティバル実行委員会設立時より保存活動に参加。公民館長としても林鉄保存の啓発活動に尽力。作業小屋(プレハブ)に掲げる「王滝森林鉄道の会」の看板を揮毫。



王滝公民館祭り「体験乗車会」 11月4日(土) 13時~15時



「林鉄フェスで乗車できなかった」という村民の皆さん57名の乗車があり、車庫前から管理棟前までの約500mを6往復しました。管理棟前で機回しができないため2台の機関車の続行運転で行いました。

龍神沢復旧工事 2023年6月

2020年7月の豪雨で流出した龍神沢の土砂が撤去され、木橋撤去と水路横断ボックスカルバート設置・周辺整地作業が行われ、埋没していた「水神様」も沢の右手に安置しました。このあと、線路敷設工事を進めています。



運材台車への原木材積込



藤本林業による滝越八王子社叢材展示線台車積込

10月5日(木) 7時~9時半

フェス2023のための  
森林管理署材積込  
(森林管理署王滝事務所・王滝林業・上松陸送)  
搬入 10月6日(金) 15時~17時半  
搬出 10月10日(火) 7時~8時



水が瀬土場での積み込み

2023 定例作業日スナップ



9月10日



森林管理署材積み込み



11月12日

「王滝森林鉄道の会」はみなさんの賛意と協賛で！  
会費 (年会費3千円) (ヒノキ製会員証を発行します)  
一般寄付 (無記名)  
記銘寄付(枕木募金) (5千円以上でプレート掲額)  
郵便振替口座 00500 - 5 - 62079  
加入者名「王滝森林鉄道の会」